

荷送人等又は荷受人が補修又は改裝を承諾しないときは、当社は、当該貨物の運送の申込みを拒否し、又は既に締結した運送契約を解除することができる。

3 前項の補修又は改裝に係る費用は、荷主の負担とする。

船積の利用の中止等

第十四条 当社は、次の各号のいずれかに該当する場においては、予定した船便の利用の中止、使用船舶発着日時、航路、寄港地、船積港若しくは積荷の搬入又は貨物の種類等の制限の措置をとることができる。

一 気象又は海象が使用船舶の航行に障害を及ぼす場合

二 天災、火災、海難、使用船舶の故障その他のやむを得ない事由が発生した場合

三 災害時における出港避難、緊急避難その他のこれらに類する旅客又は貨物の輸送を行う場合

四 運送人等の同意罷棄その他の争議が発生した場合

五 船舶等又は乗客者の疾病が発生した場合若しくは生命が危険にさらされ、又は健康が著しく損なわれるおそれのある場合

六 使用船舶の奪取又は破壊等の不法行為が発生した場合

七 官署の命令又は要求があった場合

八 海上における人命又は財産の救助が必要となった場合

九 前各号に掲げる事由のおそれがある場合

十 その他正当な事由がある場合

第十五条 当社は、天災等の正当な事由がある場においては、貨物を最寄港その他の港若しくは場所へ荷揚げし、又は船舶に積み戻すことができる。

第十六条 当社は、陸揚以外の場所において荷揚げした貨物については、荷主の指図を待つ時間がない場合、当社の定める期間内に荷主の指図がない場又は他の正当な事由がある場においては、荷主の利益のために、当社が選定する運送方法及び条件により、陸揚への転送、船積港への積戻しその他の適切な措置をとることができる。

陸揚以外の場所における荷揚げ又は積戻し

第十七条 前二条に規定する措置のほか、運送の引受に関する本章の規定に抵触する範囲において、当社は、貨物の集配、受取、引渡、保管、運送方法、運送経路は種を問わず、選択の自由を留保する。

第十八条 荷受人が滞滞な貨物を受け取らない場において生じた費用は、荷主の負担とする。

第十九条 当社は、荷受人を確知することができない場又は、滞滞なく荷送人に対し相当の期間を定め、その貨物の処分につき指図することを確知することができる。

第二十条 当社は、荷受人が貨物を受け取らない場においては、滞滞なく荷受人に対し相当の期間を定め、その貨物の受取を催告し、その期間経過後、荷送人に対し前項の規定と同様の催告をすることができる。

第二十一条 荷受人が引渡すべき費用は、荷主の負担とする。

荷受人に対する指図の催告

第二十条 当社は、荷受人を確知することができない場又は、滞滞なく荷送人に対し相当の期間を定め、その貨物の処分につき指図することを確知することができる。

第二十一条 荷受人が引渡すべき費用は、荷主の負担とする。

第二十二条 荷受人が滞滞な貨物を受け取らない場において生じた費用は、荷主の負担とする。

第二十三条 当社は、荷受人を確知することができない場又は、滞滞なく荷送人に対し相当の期間を定め、その貨物の受取を催告し、その期間経過後、荷送人に対し前項の規定と同様の催告をすることができる。

第二十四条 荷受人が引渡すべき費用は、荷主の負担とする。

運送方法及び経路

第二十五条 当社は、天災等の正当な事由がある場においては、貨物を最寄港その他の港若しくは場所へ荷揚げし、又は船舶に積み戻すことができる。

第二十六条 当社は、陸揚以外の場所において荷揚げした貨物については、荷主の指図を待つ時間がない場合、当社の定める期間内に荷主の指図がない場又は他の正当な事由がある場においては、荷主の利益のために、当社が選定する運送方法及び条件により、陸揚への転送、船積港への積戻しその他の適切な措置をとることができる。

代経輸送

第二十七条 前二条に規定する措置のほか、運送の引受に関する本章の規定に抵触する範囲において、当社は、貨物の集配、受取、引渡、保管、運送方法、運送経路は種を問わず、選択の自由を留保する。

第二十八条 荷受人が滞滞な貨物を受け取らない場において生じた費用は、荷主の負担とする。

第二十九条 当社は、荷受人を確知することができない場又は、滞滞なく荷送人に対し相当の期間を定め、その貨物の処分につき指図することを確知することができる。

第三十条 当社は、荷受人が貨物を受け取らない場においては、滞滞なく荷受人に対し相当の期間を定め、その貨物の受取を催告し、その期間経過後、荷送人に対し前項の規定と同様の催告をすることができる。

第三十一条 荷受人が引渡すべき費用は、荷主の負担とする。

引渡不能貨物の委託と通知

第三十二条 当社は、荷主の責めに任じない事由により、貨物の引渡をすることができない場合は、荷主の負担により貨物を倉庫営業者へ寄託することができる。

第三十三条 前項の規定により貨物を寄託した場合、滞滞なくその旨を荷主に通知する。

第三十四条 当社は、第二項の規定により貨物を寄託した場合において、倉庫証券の発行があったときは、その証券の交付により貨物の引渡に代えることができる。第一項の費用の弁済を受けるまで倉庫証券を留置することができる。

第二章 運送等

第三十五条 荷主は、貨物の種類、数量、状態、輸送機器、電源設備等特別な取扱いの有無等の区別に従って所定の運賃及び附帯の費用を当社に支払うこととする。運賃は、特約がない限り、船積み、陸揚げに要する費用を含み、輸送機器への貨物の積卸しに要する費用を含む。

第三十六条 荷主は、当社の貨物を荷受人に引き渡すまでに、運賃、附帯の費用、立替金、滞船料及び貨物の価格に共同海損又は救助のために負担すべき金額（以下「運賃等」という）を支払わなければならない。

第三十七条 当社は、荷主の間にあらかじめ運賃等の支払いに関する合意がある場合は、当該合意による。

第三十八条 当社は、貨物の全部又は一部が不可抗力により滅失し、若しくは相当程度の損傷を生じた場合又は当主若しくは運送人等（船員等を除く）の悪意若しくは過失若しくは船員等の悪意若しくは重大な過失によつて滅失した場合は、荷主当該滅失し、又は損傷を生じた貨物に係る運賃を請求しない。当社が既に当該貨物に係る運賃の全部又は一部を受取している場合においては、荷主当該運賃を返還する。

第三十九条 当社は、貨物の全部又は一部がその性質若しくは瑕疵又は荷送人等若しくは荷受人の悪意若しくは過失による事由によつて滅失した場においては、運賃の全額を受取る。

第四十条 当社は、運賃等の支払いを受けるため貨物を競売することができる。この場合において、不足額があるときは、当社は、荷主に対してこれを請求することができる。

第四十一条 前項の競売に要する費用は、荷主の負担とする。

第三章 共同海損

第四十二条 当社は、運賃等の支払日が経過したにもかかわらず、当該運賃等が支払われない場合においては、当該運賃等を全額收受するまでの間、当該運賃等に係る貨物に荷主の費用により留置することができる。

第四章 責任

第四十三条 当社の貨物の滅失、損傷又は延着に対する責任は、当社が貨物を受け取ったときに始まる。

第四十四条 当社の責任は、荷受人が異議をとなめないで貨物を受け取ったときに消滅する。ただし、貨物に直ちに発見することができる損傷又は一部滅失がある場合において、荷受人が引渡日より一週間以内に当社に対してその通知を発したときは、この限りでない。

第四十五条 前項の規定は、貨物の引渡の当時、当社又は運送人等が貨物に損傷又は一部滅失があることを知っていたときは、適用しない。

第四十六条 荷受人が第三者から委託を受けた貨物の運送の一部又は全部を当社が行う場合において、当該利用運送に係る荷受人が貨物の引渡の日から一週間以内に、荷送人に対して、貨物に直ちに発見することができる一部滅失又は損傷があった旨の通知を発したときは、荷送人に対する当社の責任に係る第一項ただし書の期間は、荷送人が当該通知を受けた日から一週間を経過する日まで延長されたとみなす。

第四十七条 他規程のある場を除き、当社は、貨物の滅失、損傷又は延着の損害について、当社又は運送人等に悪意又は過失がないことを証明できない場合は、賠償の責めに任ずる。ただし、発航後における航行又は使用船舶の取扱いにより生じた損害については、当社又は当社がその運送のために利用する船舶

運航事業者が悪意若しくは過失又は船員等悪意若しくは重大な過失がないことを証明できない場合は、賠償の責めに任ずる。

6 前項の規定にかかわらず、当社は、第四項第四項第 号に掲げる貨物（次項において「高価値品」という。）の滅失、損傷又は延着の損害については、第五項第一項に基づき書面による通知がないときは賠償の責めに任じない。

7 前項の規定は、次に掲げる場合については適用しない。

一 運送契約の締結の当時、貨物が高価値品であることを当社が知っていた場合

二 当社又は運送人等の故意又は重大な過失によつて高価値品の滅失、損傷又は延着が生じた場合

8 貨物の滅失又は損傷の損害について当社が賠償責任を負う場合においては、当該賠償額は、あらかじめ荷送人等から通知され場所、又は当社が当該貨物の引渡について指定した場所及び時間における価額によつてこれを定める。

9 前項の場合において、あらかじめ荷送人等から通知された場所、又は当社が当該貨物の引渡について指定した場所及び時間における価額が明確でない場合においては、当該賠償額は、第五項第一項の規定により荷送人が通知した価額であるものと推定する。

10 貨物の滅失又は損傷のた荷主が支払うことを要しない運賃等は、前項の賠償額から控除する。

11 貨物の延着の損害について当社が賠償責任を負う場においては、当該賠償額は、運賃等の総額を限度とする。

12 当社は、前四項の規定にかかわらず、当社又は運送人等の悪意又は重大な過失によつて貨物が滅失、損傷又は延着した場合においては、一切の損害の賠償の責めに任ずる。

荷主等が輸送機器に付した貨物

第十四条 当社が受け取った貨物が荷送人等によつて輸送機器にその中身が詰められたものである場合には、当社又は運送人等に悪意又は過失がない限り、中身の状態及び明細について、当社は一切の責めに任じない。

第十五条 当社は、内乱、テロ、暴動、同業罷業、荒天遭遇その他の不可抗力によつて生じた損害については、賠償の責めに任じない。

除斥期間

第十六条 貨物の滅失、損傷又は延着に対する当社の責任は、貨物の引渡がされた日（貨物の全部が滅失した場合にあつては、あらかじめ当社が引渡を予定した日をいう。）から一年以内に裁判上の請求がなされないときは消滅する。

第十七条 前項の期間は、貨物の滅失、損傷又は延着による損害が発生した後に限り、合意により、延長することができる。

第十八条 荷送人が第三者から委託を受けた運送の一部又は全部を当社が行う場合において、荷送人が第一項の期間内に損害を賠償し又は裁判上の請求をされたときは、荷送人に対する当社の責任に係る同項の期間は、荷送人が損害を賠償し又は裁判上の請求をされた日から三月を経過する日まで延長されたとみなす。

第五章 附帯業務等

第十九条 当社が貨物利用運送事業に附帯する業務を引き受けた場における当社の責任については、第四章の規定を準用する。

第六章 雑則

第二十条 荷主は、荷主の都合により当社より貨物の受取前又は引渡後に、当社が指定した埠頭、オフィス、ヤード、上屋、コンテナヤード等、貨物を保管する場合、当社の承諾を得なければならない。

第二十一条 前項の規定による貨物の保管については、当該保管に係る契約の定めによることとする。

第二十二条 当社は、使用船舶の輸送能力の範囲内において便乗者の乗船申込みに応じることとし、便乗者は、荷送人の費用において乗船することとする。

第二十三条 便乗者は、使用船舶への乗船又は自動車への乗車にあたり、当該船舶運航事業者の定める約款の規定又は当該貨物自動車運送事業者の定めに従うものとする。

第二十四条 共同海損は、千九百九十四年のヨーク・アントワープ規則の規定に従つて処理する。

第二十五条 当社は、荷主が貨物に關する当社又は運送人等の不法行為による損害賠償を当社に対し請求した場合においても、この約款の規定を援用することができる。

附帯業務

第二十六条 当社が貨物利用運送事業に附帯して行ふ貨物の荷造り、保管、仕入、代金の取立て及び立替えその他の通常貨物利用運送事業に附帯する業務を引き受けた場々の料金は、当社が別に定める料金表による。

第二十七条 利用運送の申込みの際、当社の申出により荷送人が承諾したときは、当社は、荷送人の署名又は記名捺印のうえ、荷送人の費用によつて運送保険の締結を引き受ける。

第二十八条 荷主は、荷主の都合により当社より貨物の受取前又は引渡後に、当社が指定した埠頭、オフィス、ヤード、上屋、コンテナヤード等、貨物を保管する場合、当社の承諾を得なければならない。

第二十九条 前項の規定による貨物の保管については、当該保管に係る契約の定めによることとする。

第三十条 当社は、使用船舶の輸送能力の範囲内において便乗者の乗船申込みに応じることとし、便乗者は、荷送人の費用において乗船することとする。

第三十一条 便乗者は、使用船舶への乗船又は自動車への乗車にあたり、当該船舶運航事業者の定める約款の規定又は当該貨物自動車運送事業者の定めに従うものとする。

第三十二条 共同海損は、千九百九十四年のヨーク・アントワープ規則の規定に従つて処理する。

第三十三条 当社は、荷主が貨物に關する当社又は運送人等の不法行為による損害賠償を当社に対し請求した場合においても、この約款の規定を援用することができる。

附帯業務

第二十四条 共同海損は、千九百九十四年のヨーク・アントワープ規則の規定に従つて処理する。

第二十五条 当社は、荷主が貨物に關する当社又は運送人等の不法行為による損害賠償を当社に対し請求した場合においても、この約款の規定を援用することができる。

附帯業務

第二十六条 当社が貨物利用運送事業に附帯する業務を引き受けた場における当社の責任については、第四章の規定を準用する。

附帯業務

第二十七条 利用運送の申込みの際、当社の申出により荷送人が承諾したときは、当社は、荷送人の署名又は記名捺印のうえ、荷送人の費用によつて運送保険の締結を引き受ける。

第二十八条 荷主は、荷主の都合により当社より貨物の受取前又は引渡後に、当社が指定した埠頭、オフィス、ヤード、上屋、コンテナヤード等、貨物を保管する場合、当社の承諾を得なければならない。

第二十九条 前項の規定による貨物の保管については、当該保管に係る契約の定めによることとする。

第三十条 当社は、使用船舶の輸送能力の範囲内において便乗者の乗船申込みに応じることとし、便乗者は、荷送人の費用において乗船することとする。

第三十一条 便乗者は、使用船舶への乗船又は自動車への乗車にあたり、当該船舶運航事業者の定める約款の規定又は当該貨物自動車運送事業者の定めに従うものとする。

第三十二条 共同海損は、千九百九十四年のヨーク・アントワープ規則の規定に従つて処理する。

第三十三条 当社は、荷主が貨物に關する当社又は運送人等の不法行為による損害賠償を当社に対し請求した場合においても、この約款の規定を援用することができる。

附帯業務

第二十四条 共同海損は、千九百九十四年のヨーク・アントワープ規則の規定に従つて処理する。

第二十五条 当社は、荷主が貨物に關する当社又は運送人等の不法行為による損害賠償を当社に対し請求した場合においても、この約款の規定を援用することができる。

附帯業務

第二十六条 当社が貨物利用運送事業に附帯して行ふ貨物の荷造り、保管、仕入、代金の取立て及び立替えその他の通常貨物利用運送事業に附帯する業務を引き受けた場々の料金は、当社が別に定める料金表による。

第二十七条 利用運送の申込みの際、当社の申出により荷送人が承諾したときは、当社は、荷送人の署名又は記名捺印のうえ、荷送人の費用によつて運送保険の締結を引き受ける。

第二十八条 荷主は、荷主の都合により当社より貨物の受取前又は引渡後に、当社が指定した埠頭、オフィス、ヤード、上屋、コンテナヤード等、貨物を保管する場合、当社の承諾を得なければならない。

第二十九条 前項の規定による貨物の保管については、当該保管に係る契約の定めによることとする。

第三十条 当社は、使用船舶の輸送能力の範囲内において便乗者の乗船申込みに応じることとし、便乗者は、荷送人の費用において乗船することとする。

第三十一条 便乗者は、使用船舶への乗船又は自動車への乗車にあたり、当該船舶運航事業者の定める約款の規定又は当該貨物自動車運送事業者の定めに従うものとする。

第三十二条 共同海損は、千九百九十四年のヨーク・アントワープ規則の規定に従つて処理する。

第三十三条 当社は、荷主が貨物に關する当社又は運送人等の不法行為による損害賠償を当社に対し請求した場合においても、この約款の規定を援用することができる。

【第二種利用運送事業・内航】

1. 利用運送の区域または区間
全国各港間

2. 貨物の集配の拠点

仕立地	仕向地
苫小牧港	秋田港
	大洗港
	常陸那珂港
	京浜港
	敦賀港
	新潟港
	大阪港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	関門港
	細島港
	博多港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	大分港
	舞鶴港
	長崎港
釧路港	日立港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港

	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
小樽港	新潟港
	舞鶴港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港
	八戸港
	千葉港
	京浜港

	三河港		常陸那珂港
	阪神港		大洗港
	水島港		舞鶴港
	坂出港		長崎港
	広島港	秋田港	苫小牧港
	中津港		新潟港
	鹿児島港	仙台塩釜港	名古屋港
	那覇港		苫小牧港
	大分港		敦賀港
	常陸那珂港		関門港
	大洗港		細島港
	長崎港		博多港
八戸港	名古屋港		小樽港
	苫小牧港		釧路港
	敦賀港		千葉港
	関門港		京浜港
	細島港		三河港
	博多港		阪神港
	小樽港		水島港
	釧路港		坂出港
	千葉港		広島港
	京浜港		中津港
	三河港		鹿児島港
	阪神港		那覇港
	水島港		大分港
	坂出港		常陸那珂港
	広島港		大洗港
	中津港		舞鶴港
	鹿児島港		長崎港
	那覇港		東京港
	大分港		大阪港

日立港	釧路港
常陸那珂港	苫小牧港
	博多港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	那覇港
	大分港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
大洗港	苫小牧港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港

	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	大分港
	常陸那珂港
	舞鶴港
	長崎港
東京港	仙台塩釜
	博多港
	荏田港
	大分港
	那覇港
	石垣港
	大島元町港
	大島岡田港
大島元町港	東京港
大島岡田港	東京港
京浜港	苫小牧港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	敦賀港
	関門港

	細島港		坂出港
	博多港		広島港
	小樽港		中津港
	釧路港		鹿児島港
	八戸港		那覇港
	三河港		大分港
	阪神港		常陸那珂港
	水島港		大洗港
	坂出港		舞鶴港
	広島港		長崎港
	中津港	横須賀港	新門司港
	鹿児島港	名古屋港	苫小牧港
	那覇港		那覇港
	大分港		関門港
	常陸那珂港		仙台塩釜港
	大洗港		敦賀港
	舞鶴港		細島港
	長崎港		博多港
			小樽港
			釧路港
			八戸港
千葉港	名古屋港		千葉港
	仙台塩釜港		京浜港
	苫小牧港		三河港
	敦賀港		阪神港
	関門港		水島港
	細島港		坂出港
	博多港		広島港
	小樽港		中津港
	釧路港		鹿児島港
	八戸港		大分港
	三河港		
	阪神港		
	水島港		

	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	島間港
	長崎港
三河港	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
敦賀港	苫小牧港
	新潟港

	名古屋港
	仙台塩釜港
	関門港
	細島港
	博多港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
新潟港	苫小牧港
	小樽港
	秋田港
	敦賀港
	両津港
舞鶴港	小樽港
	名古屋港
	仙台塩釜港

	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	常陸那珂港
	大洗港
	長崎港
大阪港	苫小牧港
	仙台塩釜港
	東京港
	博多港
	別府港
	志布志港
	那覇港
	平良港
	石垣港
泉大津港	新門司港
神戸港	大分港

	新門司港
	那覇港
	宮崎
阪神港	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
北九州港	那覇港
苅田港	東京港
博多港	那覇港
	常陸那珂港
	東京港

	大阪港		八戸港
	名古屋		千葉港
	仙台塩釜港		京浜港
	苫小牧港		三河港
	敦賀港		中津港
	関門港		鹿児島港
	細島港		那覇港
	小樽港		大分港
	釧路港		常陸那珂港
	八戸港		大洗港
	千葉港		舞鶴港
	京浜港		長崎港
	三河港	広島港	名古屋港
	阪神港		仙台塩釜港
	水島港		苫小牧港
	坂出港		敦賀港
	広島港		関門港
	中津港		細島港
	鹿児島港		博多港
	大洗港		小樽港
	舞鶴港		釧路港
	長崎港		八戸港
水島港	名古屋港		千葉港
	仙台塩釜港		京浜港
	苫小牧港		三河港
	敦賀港		阪神港
	関門港		中津港
	細島港		鹿児島港
	博多港		那覇港
	小樽港		大分港
	釧路港		常陸那珂港

	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
三島川之江港	千葉港
坂出港	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
新門司港	横須賀港
	泉大津港
	神戸港
関門港	名古屋港
	仙台塩釜港

	苫小牧港
	敦賀港
	細島港
	博多港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	鹿児島港
	那覇港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
別府港	大阪港
大分港	東京港
	神戸港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	細島港
	博多港

	小樽港		広島港
	釧路港		那覇港
	八戸港		大分港
	千葉港		常陸那珂港
	京浜港		大洗港
	三河港		舞鶴港
	阪神港		長崎港
	水島港	長崎港	名古屋港
	坂出港		仙台塩釜港
	広島港		苫小牧港
	中津港		敦賀港
	鹿児島港		関門港
	常陸那珂港		細島港
	大洗港		博多港
	舞鶴港		小樽港
	長崎港		釧路港
中津港	名古屋港		八戸港
	仙台塩釜港		千葉港
	苫小牧港		京浜港
	敦賀港		三河港
	関門港		阪神港
	博多港		水島港
	小樽港		坂出港
	釧路港		広島港
	八戸港		中津港
	千葉港		鹿児島港
	京浜港		那覇港
	三河港		常陸那珂港
	阪神港		大洗港
	水島港		舞鶴港
	坂出港		大分港

細島港	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	博多港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	那覇港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
宮崎港	神戸港
鹿児島港	那覇港
	名瀬港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港
	関門港
	博多港
	小樽港

	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
名瀬港	鹿児島港
	那覇港
志布志港	大阪港
島間港	名古屋港
那覇港	東京港
	大阪港
	神戸港
	北九州港
	博多港
	鹿児島港
	名瀬港
	平良港
	石垣港
	名古屋港
	仙台塩釜港
	苫小牧港
	敦賀港

	関門港
	細島港
	小樽港
	釧路港
	八戸港
	千葉港
	京浜港
	三河港
	阪神港
	水島港
	坂出港
	広島港
	中津港
	大分港
	常陸那珂港
	大洗港
	舞鶴港
	長崎港
平良港	大阪港
石垣港	東京港
	大阪港
	那覇港
本部港	伊江港

以上